

「イベントTシャツ着用者健康被害事故の件」

全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

会長 吉見正彦

平成28年9月12日に神奈川県茅ヶ崎市で開かれた『スタンドアップパドルボード』の国際大会で、主催者側が配布したTシャツを着用したところ、皮膚のかぶれ、やけどのような症状のほか、アレルギー症状まで訴えている方が現在24名いると報道されました。そのTシャツの製造された印刷会社は当組合の会員企業ではありませんでしたが同業者として原因の追及とその対策を組合企業各社へ通達してお客様に安心してご発注頂けるようにするとともに、全国でTシャツの印刷をしている組合企業が風評被害を受けないようにするべく業界団体として表明させていただきます。

＜今回の事例の考えられる原因＞

従来、Tシャツへの印刷はスクリーン印刷技法もしくは昇華転写技法によるものが主流でしたが小ロット・単納期に対応する為にこの数年でダイレクトインキジェットプリンターでの製作をする会社が増えてきました。ポリエステル素材のTシャツに発色性の高いインキを密着させる為に前処理剤として「顔料用前処理剤」を塗布してプリント後に加熱処理もしくは洗浄処理をしないことが必須でしたが製作者の認識不足で加工処理を怠った事が原因と思われます。

＜組合企業に通知した対策＞

上記の様な事が起きると製造方法を知らないお客様からは印刷されたTシャツを着る事への不安を感じさせて風評被害につながるの以上記の製造方法をされる企業は順守事項を必ず守りお客様の安心・安全を第一に考える事を最優先するように通知いたします。

以上